

「財田地区ええとこ発見図」を作成するに当たって、私たちは財田地区のことを自分の足で歩いて調べてみました。

そして、自分達のまちにも、おおぜいの人には知られてはいないけれど、すばらしい自然や場所があることを改めて知ることが出来ました。自分たちの健康づくりに、楽しいまちづくりに、仲間づくりに、この「財田地区ええとこ発見図」を利用して歩いてみてください。

☆次の写真の場所はどこでしょう。探してみてください。



☆歩いた所にしるしをつけてみてください。歩いていて見つけたものを書きこんでみましょう。きっと歩くことが楽しくなりますよ。

往来神社
久那止山山裾にある。現在の本殿は1949年に再建。神社南側の石段の途中にある明神鳥居は、豊島石（凝灰岩）で造られ、県下で最も古い。県の重要文化財に指定。

★参考にしてください
◎歩はば 身長×0.4
◎歩く速さ 1kmを10分・普通の速さ12~13分
少しゆっくりの速さ15分
◎33歩で1カロリーの消費
◎水分補給を十分に(始め・中・終わり)

天鴨神社
元土田の鴨神社を明治の初め八ヶ村(旧財田地域・四御神・土田・長岡・乙多見・下・長利・米田・神下)の郷社として中心付近へ勧請された。その後、長岡八幡宮を合祀された。

浮田神社
干拓は、潮止めや浮場の外、用水路の掘削等大変な苦勞であった。人々は成功と安定を願って浮田を神として祀った。

耳岩神社
ご神体は人の耳の形をした巨岩。江戸後期(1839)に拝殿が建てられる。耳の病気に限らずさまざまな願い事が叶うと信仰を集める。4月29日春の大祭。

渋染一揆資料館
渋染一揆に関する資料が整えられている。
〈例〉御俵約御触書
襦袢多着物一件
肩物重宝記 口書

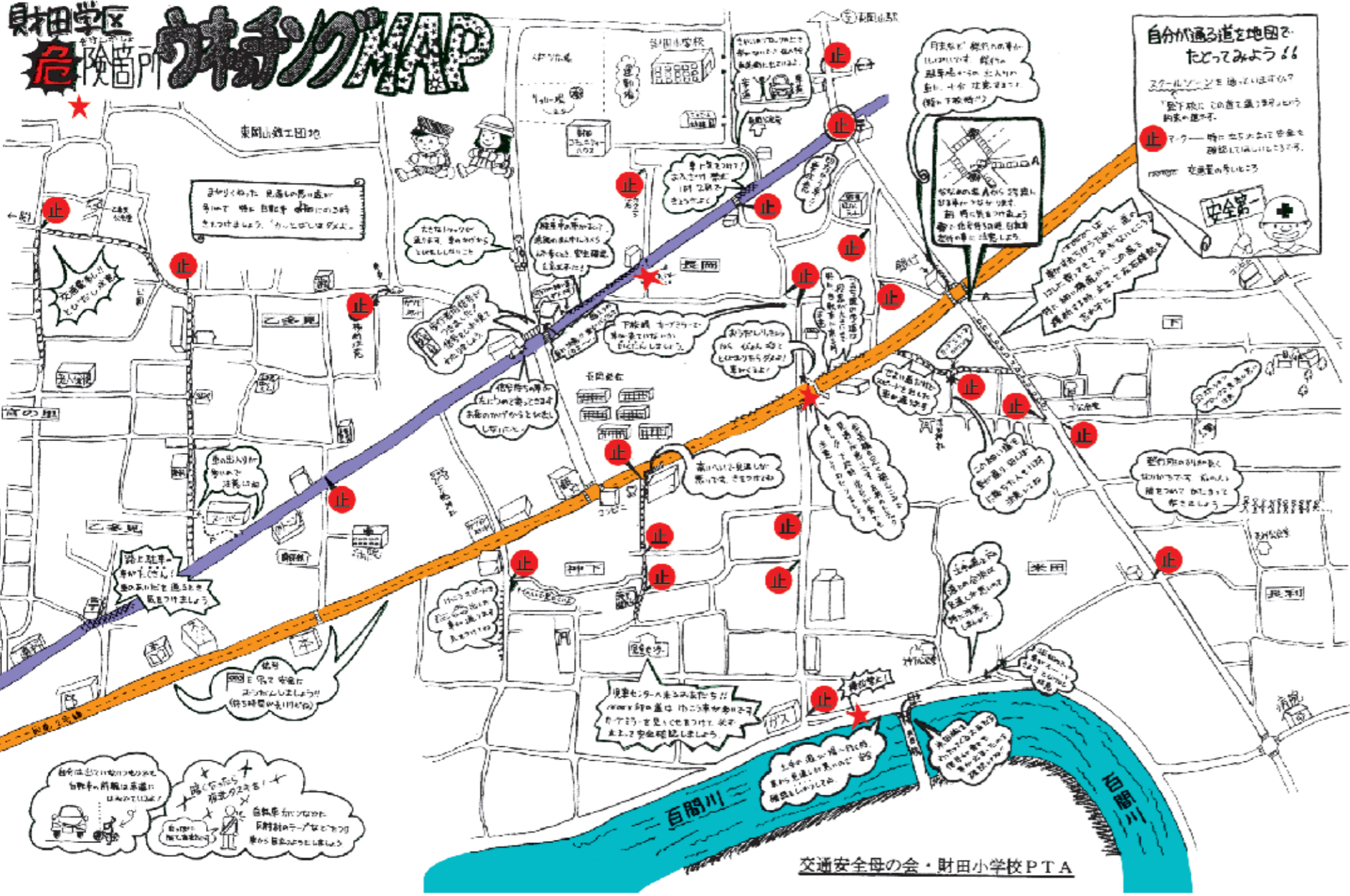
岩間山最明寺山本院
奈良時代、報恩大師が天皇の許しを得て建立したと伝えられる。1502年焼失、1761年再建。本尊は阿彌陀如来座像。時頼公ゆかりの桜。

生庶神社(おおたみじんじや)
祭神は大国主命御子。「若布都怒志命」「おおみたかわかふつねしのみことら」と呼ばれた。農民がその祖神として豊かな土地の耕作に勤む喜びを称えて祀った。

百間川施設
ゲートボール場 サッカー場 バasketボールコート 公園 テニスコート 野球場 遊園地 広場 (トイレ)

財田地区

ええとこ発見図



「ええとこ発見図」は、自分たちの住んでいる「地域の良さ」を再発見しようという視点で作成したものです。作成過程で、地域を何度も歩くことにより普段見過ごしていた大切な資源を再確認しあい、話し合いを重ねて作りあげました。いろいろな人と知り合い、お互いを認めあうことで、この地域に住む人の「ええとこ」も再発見しました。そして、今まで以上に愛着が深まりました。この「ええとこ発見図」を利用して、ますます地域の絆が深まっていくことを願っています。

—作成者一同—

作成者
財田地区愛育委員会 財田地区交通安全母の会 財田幼稚園・小学校PTA
岡山市神下乙多見隣保館 岡山市保健所・東保健センター

交通安全母の会・財田小学校PTA